

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

9月定例会では、18人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

8月に就任した田村克也市長が初めて出席する9月定例会において、任期である4年間の施政方針が市長から説明されました。9月6日から8日に行われた一般質問では、今後のまちづくりのあり方について、議員がさまざまな角度から質問しました。

福田 佳則 議員

公明党



林 政徳 議員

日本維新の会 三田



市民病院

市民病院医師からの要望書と異なる発言理由は

議員 所信表明の表現と要望書の表現に齟齬があり、59名の医師の立場を損なうことにつながりかねない。異なる発言の理由と、医師への対応は。

強い危機感の表れが誤解を招く表現となった

市 要望書の受領と同時期に、市民病院医師が退職を検討していると伝え聞いたことから、一連の動きを重く受け止め、所信表明において、強い危機感の表れが結果として誤解を招く表現となった。不適切な表現で不快な印象を与えたことをお詫びする。市民病院医師の思いを真摯に受け止め、再編統合について慎重に判断していく。(田村市長)

他の質問 ● 市長の政治姿勢について
● 学校再編の考え方について 他1件

災害対策

日本レスキュー協会との協定書の見直しを

議員 日本レスキュー協会は、災害救助犬とセラピー犬の訓練・派遣を行っているが、平成18年締結の市との協定書は、「災害救助犬の出動に関する協定書」となっている。今後、災害時には避難所へのセラピー犬の出動も必要と考えるが、市の見解を伺う。

協定見直しを機に、セラピー犬も派遣へ

市 大規模災害発生時における災害救助犬による捜索活動の応援要請とあわせて、避難生活が長期に及ぶ場合には、不安な感情を抱えることが多い被災者の心を癒すセラピー犬を派遣していただくよう、協定書の見直しを早急に進める。(西田危機管理監)

他の質問 ● 三田市における急性期医療確保について 他1件

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



学校給食

給食センターは直営を堅持すべき

議員 第3期三田市教育基本計画の中で、給食センターは「提供体制のあり方について検討」とされている。学校給食は子どもたちの発達や食育に欠かせない重要なものであり、指定管理者制度の導入や民間委託ではなく、現在の直営を堅持すべきでは。

民間活力の導入も含めて検討する

市 市内2つの給食センターは、開設後30年が経過している。子どもたちの食の安全、体づくりと健康維持、食育の推進など、給食の果たす役割は大きく、持続可能な給食の維持のため、民間活力の導入も含め施設の整備と運営の検討が必要である。(鹿嶽教育長)

他の質問 ● 第5次総合計画の見直しについて
● 幼稚園再編にかかる進め方について

今北 義明 議員

盟政会



市民病院

再編統合を先延ばし、命を守ることに繋がるのか

議員 急性期医療を将来にわたって守り続けることが極めて困難な状況であることを確認され、その現状において、市民の命を守る最善策である再編統合を白紙撤回し先延ばしすることが、本当に市民の命を守ることに繋がるのか。

再編統合に関する方向性を早急に決定したい

市 市民病院の現状は、市長就任前に想定していたよりはるかに厳しく、急性期医療を将来にわたって守り続けることが極めて困難な状況であることに大きな危機感を持っている。再編統合に関する方向性を早急に決定したい。(田村市長)

他の質問 ● 防災対策について

水元 サユミ 議員

日本共産党三田市議団



市民病院

公約の白紙撤回を実行に移すことが重要

議員 市民病院の再編統合について、白紙撤回と言った以上は辞書どおり実行すべき。何もない白紙の状態、意見交換会等により市民の意見を聞くということではないのか。十分に情報公開し現状を説明しても、今の場所に残留してほしいという声が多ければどうするのか。

市民の納得感を得るステップを踏んでいく

市 辞書の白紙撤回と私の理解は違う。市民に十分な情報を公開し、市民の声を聴き、納得感を得るステップがなかったため、市民病院の厳しい状況を私自身が直接伝え、市民病院を今の場所に残すにはどのような手段があるかも含めて市民の皆さまと対話していく。(田村市長)

他の質問 ● 平和に関する市長の政治姿勢について

